SMA-K ダイプレクサ

共通 RF ポートは COM です。DC–2000 MHz の信号は COM–L 経路、3000–18000 MHz の信号は COM–H 経路を通過します。

各経路は、もう一方の経路の規定通過帯域において、60 dB を超える阻止域減衰量を備えます。

RF 特性

項目	値
RF 共通ポート	COM
通過帯域 L	DC–2000 MHz
通過帯域 H	3000–18000 MHz
挿入損失	<1.5 dB
通過帯域内リップル	<1.5 dB
VSWR	<2.0:1
逆方向アイソレーション	>6.0 dBc
阻止域減衰量 L	>60 dB (3000–18000 MHz)
阻止域減衰量 H	>60 dB (DC–2000 MHz)

設計定格 設計保証値

項目	値
CW 許容電力	5 W CW
動作温度	−40–+70 °C
保存温度	−55–+85 °C

機械仕様

項目	値
RF 端子	SMA-K (設計保証値)
表面処理	黒色塗装 (設計保証値)
筐体寸法	42 × 42 × 10 mm
外形図の一般公差	±0.3 mm
取付用貫通ねじ穴	4 × M2.5
取付穴中心間距離	37 × 37 mm

取り付けと実装

モジュールを確実に固定し、システムのグラウンドに接続してください。ケーブルとコネクタはインピーダンスが整合するものを選定してください。通常は 50 Ω です。電力の高い用途では放熱を確保してください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。